へ13
3877
6

ヘ1
3877
6

美圖垣笑顔作
一陽齋豊國画

第拾壹編上

蝦蟆妖術
巨蟒怪異

児雷也豪傑譚

前後二冊

嘉永二稔
己酉新春
壽梓發兌

芝神明前三島町
和泉屋市兵衛版

智者ハ自適して流行に後れず庸才ハ自適せずして人の好咎に隨て常に流行を追ふ果敢なる策子物語も時好に愜へバ行れ擬源氏紫の色揚長帋繪迄も僞むらさき何処も彼所も檀紙の売摺砂子賽の白製趣向ハ何も長譚年々歳々腹相似たる好男子の賊主異人の術譲り故れを温て新くな讃藻平の暦子と伊勢に因のある事ハ福岡貢に書更ても猫が糞にて漸せバまむ思慮を旋せ迄もあり然れバ拙ハ児雷也譚も作に実もなく花も迄繪組の目前を屑にて児女童蒙の意に悦ひ世評喝采造化に第十一編まで至りゆき糞くハ前輯と倶に高評を願ふとあり云

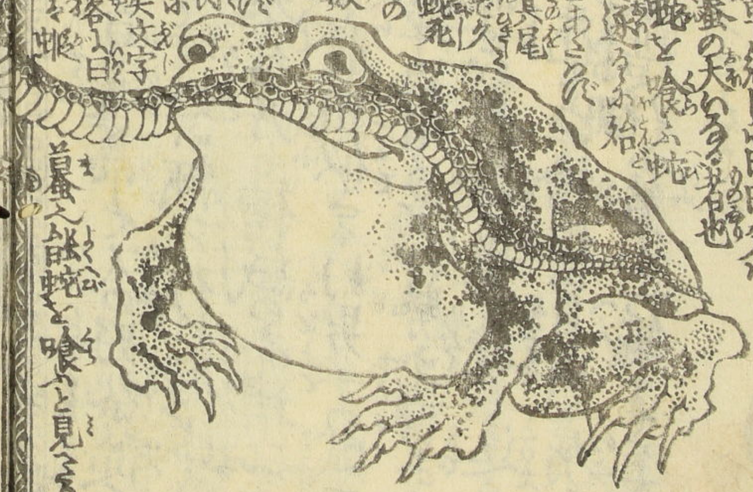
維時嘉永戊申中春稿成
同己酉春寿梓発兌

一筆莽主人誌

越中立山
地獄谷の
鼻涕仙女

田父一ニ蝓ニ作ル

本草綱目に曰田父は
蝦蟇の大いなる者也
よく蛇を喰ふ蛇
行て逐るに殆
去とあるに
因て其尾
を啣で久
しき蛇死
せ尾の
後数
寸皮
損ぜ
ず肉
まで
盡矣文字
集畧に曰
蝓は蝦
蟇之能蛇を喰ふと見えたり



事文類聚東坡
集註等に所謂三竦
縮は蝦蟇。蜈蚣。蛇
なり此三物相値は比自動なす
彼も此も食ふとを畏てこと見えて
なり未蛞蝓のことを我ぞ今世
俗のいふ三竦縮は。蛇。蟇。
鼻涕蟲を斥ていふ按るに
本草綱目に蜈蚣蛞
蝓を畏ると見えたり
五雜俎に龍の
蜈蚣をあそるゝ
支をあるせり
いまだ其是非を
あらず

信州
黒媛
山の
兒雷也
尾形周馬
弘行

尾形弘行の妻
綱手

猛ニ男男子も
遠く及ぶ
武藝通暁
せざる事なし
就中水煉
小妙術を
得て船るく
まで波濤
を渉る素
是舌愈

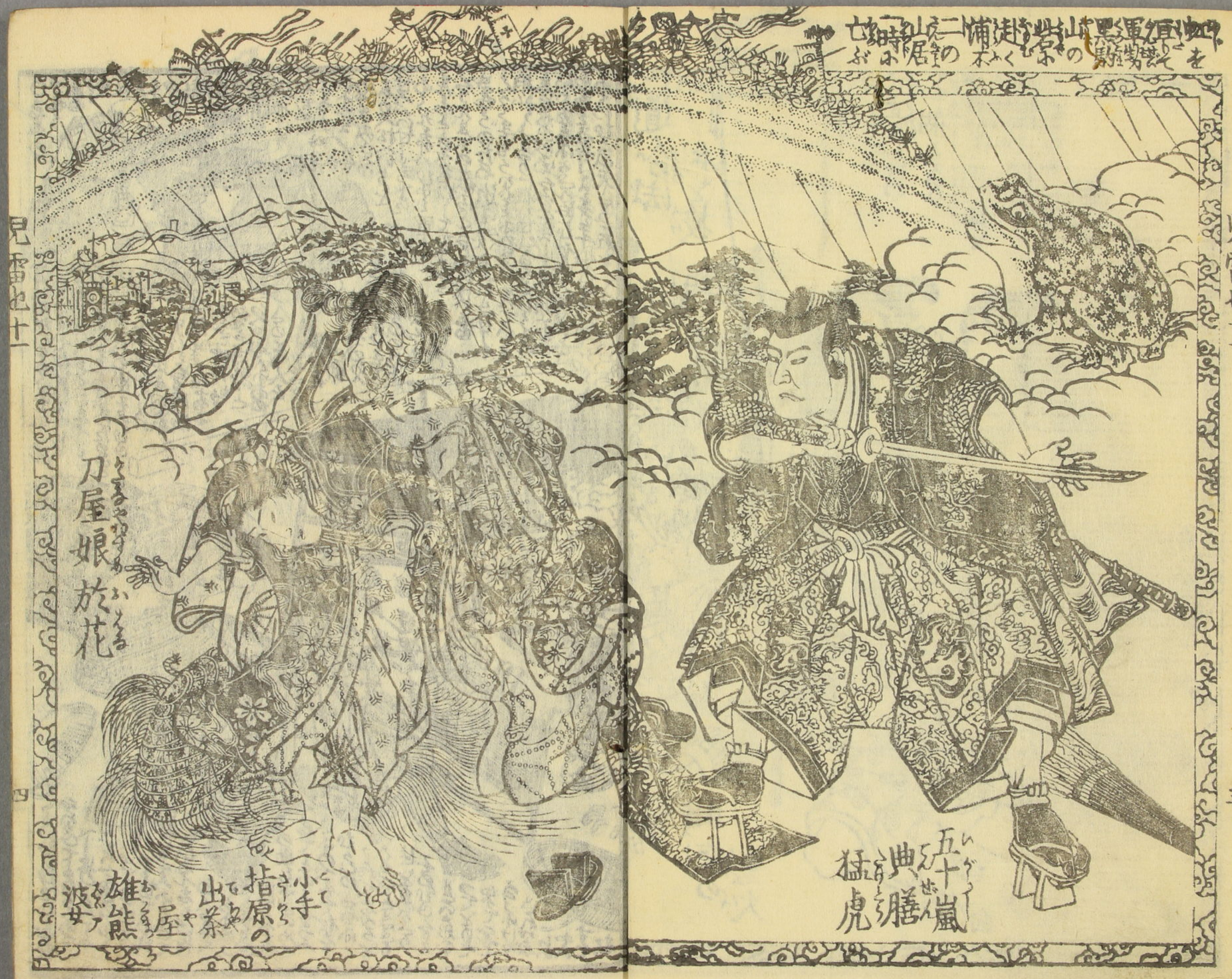
未塵
骨平
種无

道人の法
術を授

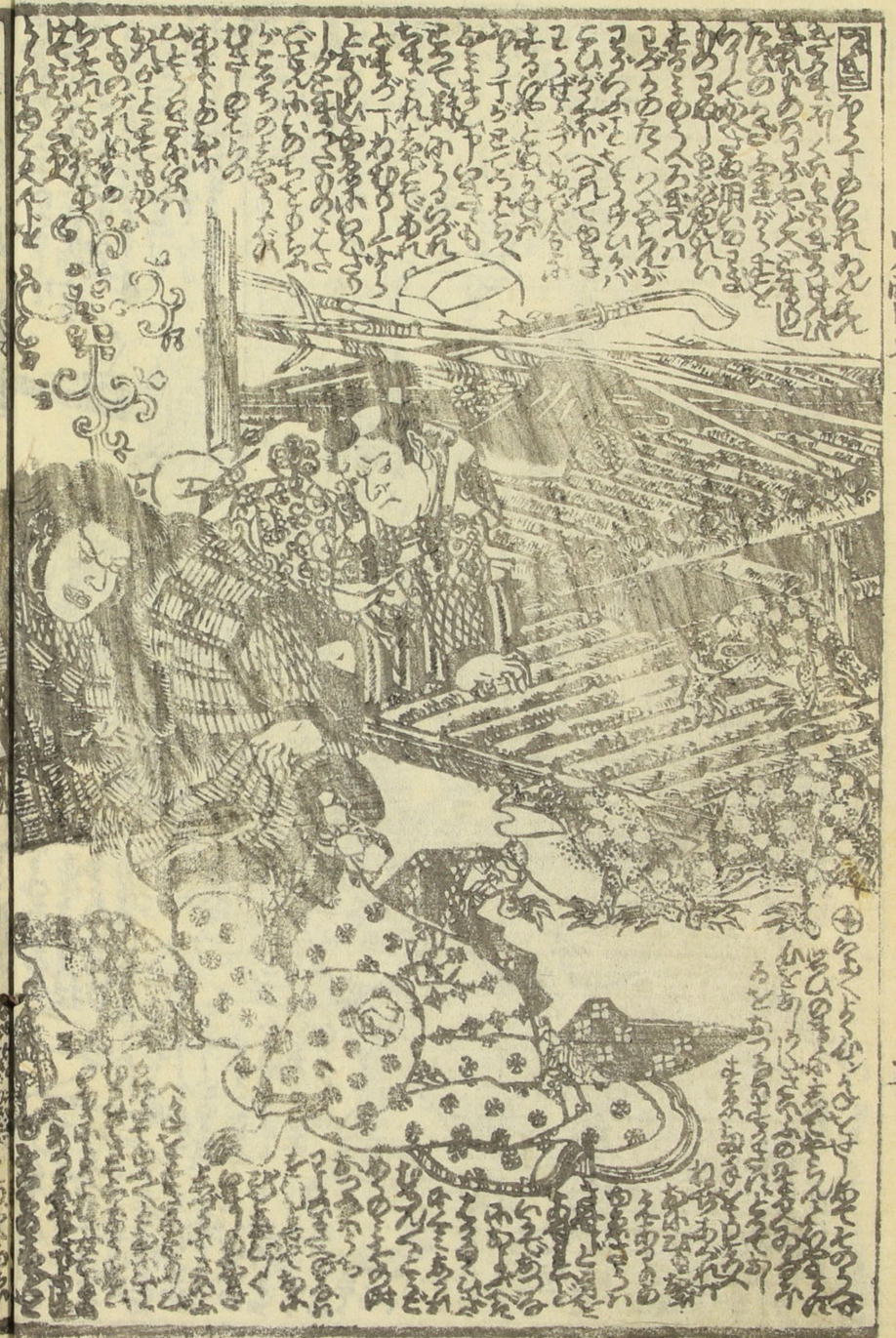
豪傑の
一個となり
月花因縁を
結びく
鬼の女房の
鬼神と
なれり

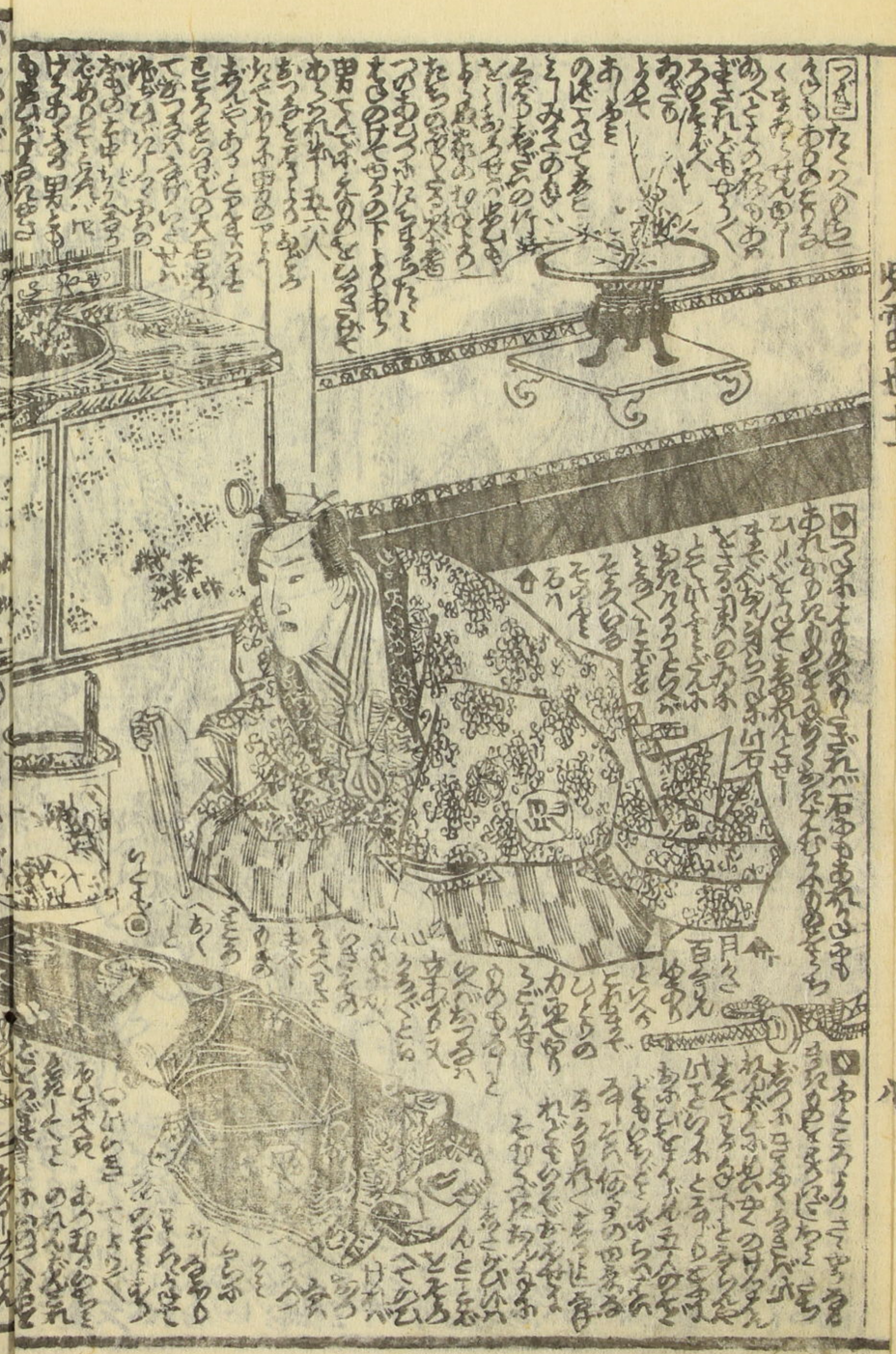
雨夜の
鬼火

欲面



五十嵐
典膳
猛虎
刀屋娘於花
小手指原の出茶屋
雄熊婆





児雷也捨松を勇見之助に渡して黒姫山に帰る

豊國画笑顔作

嘉永六年癸丑孟春新雕

假名反古 一休草紙

柳下亭種員作
一雄齋國輝画

初編ハ一休の御母公孝貞ゝ死ぬるひより禅師俗内にやどりのなり
の丑和田三滝が菊帝の為に忠を尽し條の事を説き余談ハ 二編 に
及びこゝに前ゝ生生まれより幼きころの形容ゑなりしころの扱 三編 に
至ては江州堅田に家純善男の流浪するのゝ水杯を説 四編 五編 にて
つぎて当年よりいと粗末の土器にハ当頃のうれ女地獄男達を晩
年に助乳母の一路君さうの杯を拳世に亜例一休物語といへる美
て種々面白く耳なれぬる話のことをつゞり合せり長編に仕立のつゞ
は一らんの上はる評事解とす

板元敬白

芝神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛板

笑顔さく
豊さく小恵
嬢(ぎ)蛍(ま)結
えんう志田つ
巨蟒(おうち)の
天ゝ以実
嘉永二年
酉のとる

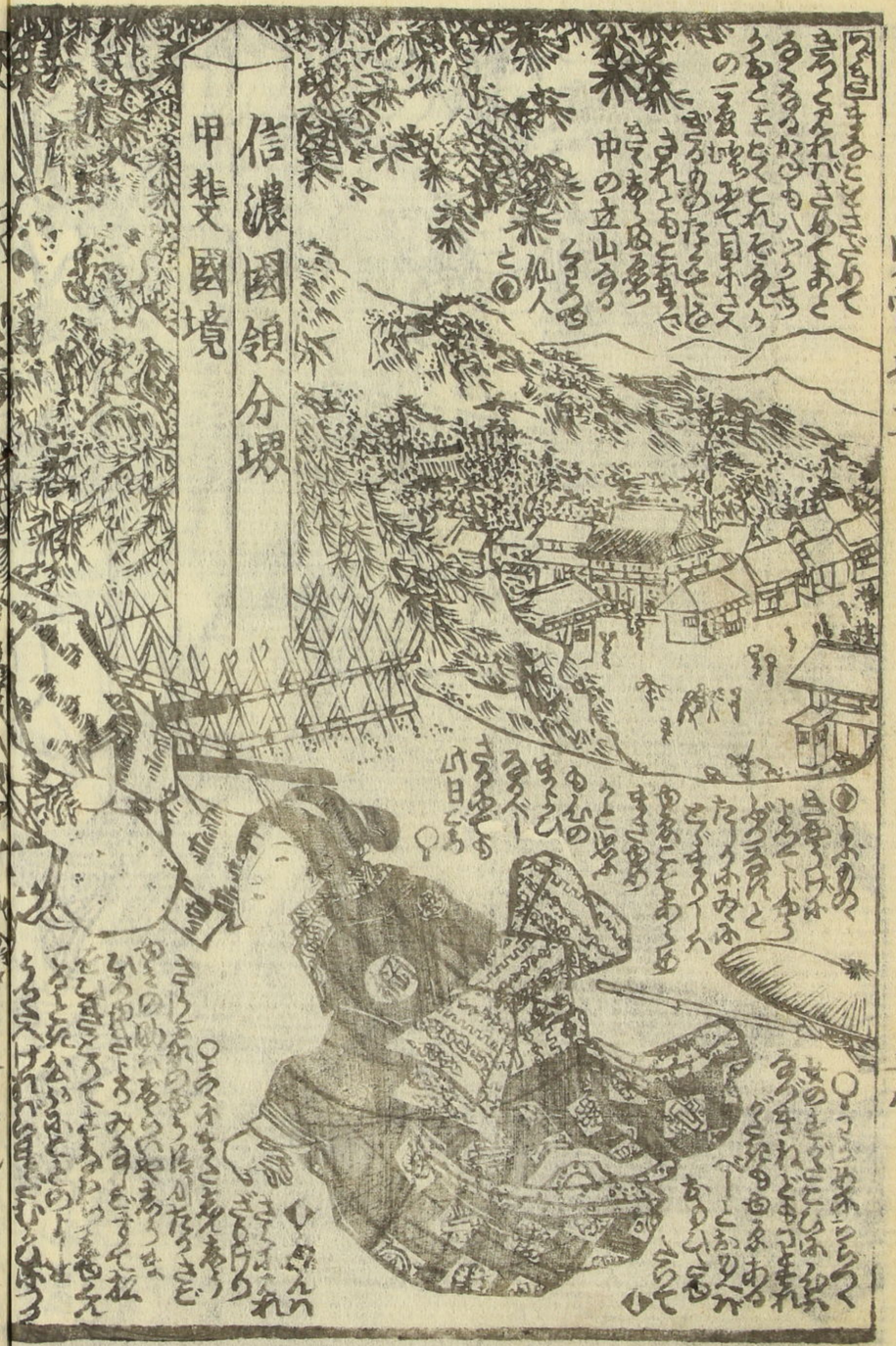
十一屋ん下

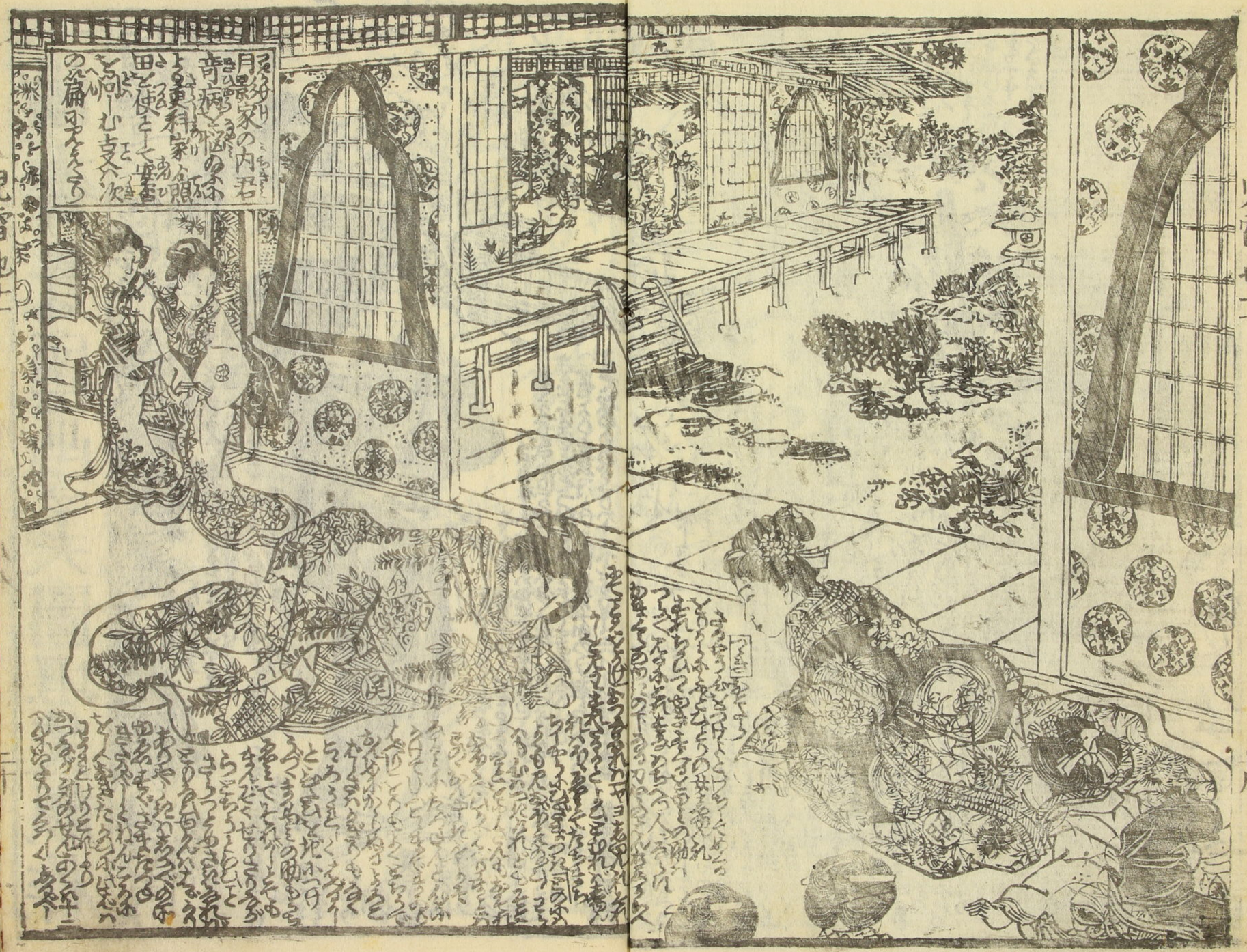
ん(ぢ)雷也(らいや)
家傑(ぎつ)
物(ものくり)

芝神明まへ
甘泉堂たん

信濃國領分堺

甲斐國境





一陽齋豊國画 美圖垣笑顔作

嘉永六年癸丑孟陬發市標目

兒雷也豪傑譚 廿一篇 廿二篇 廿三篇 柳下亭種員作 一雄齋國輝画

今業平昔面影 笠亭仙果作 一猛齋芳虎画 六篇 七篇

祥瑞白菊物語 緑亭川柳作 錦朝樓芳虎画 五篇 六篇

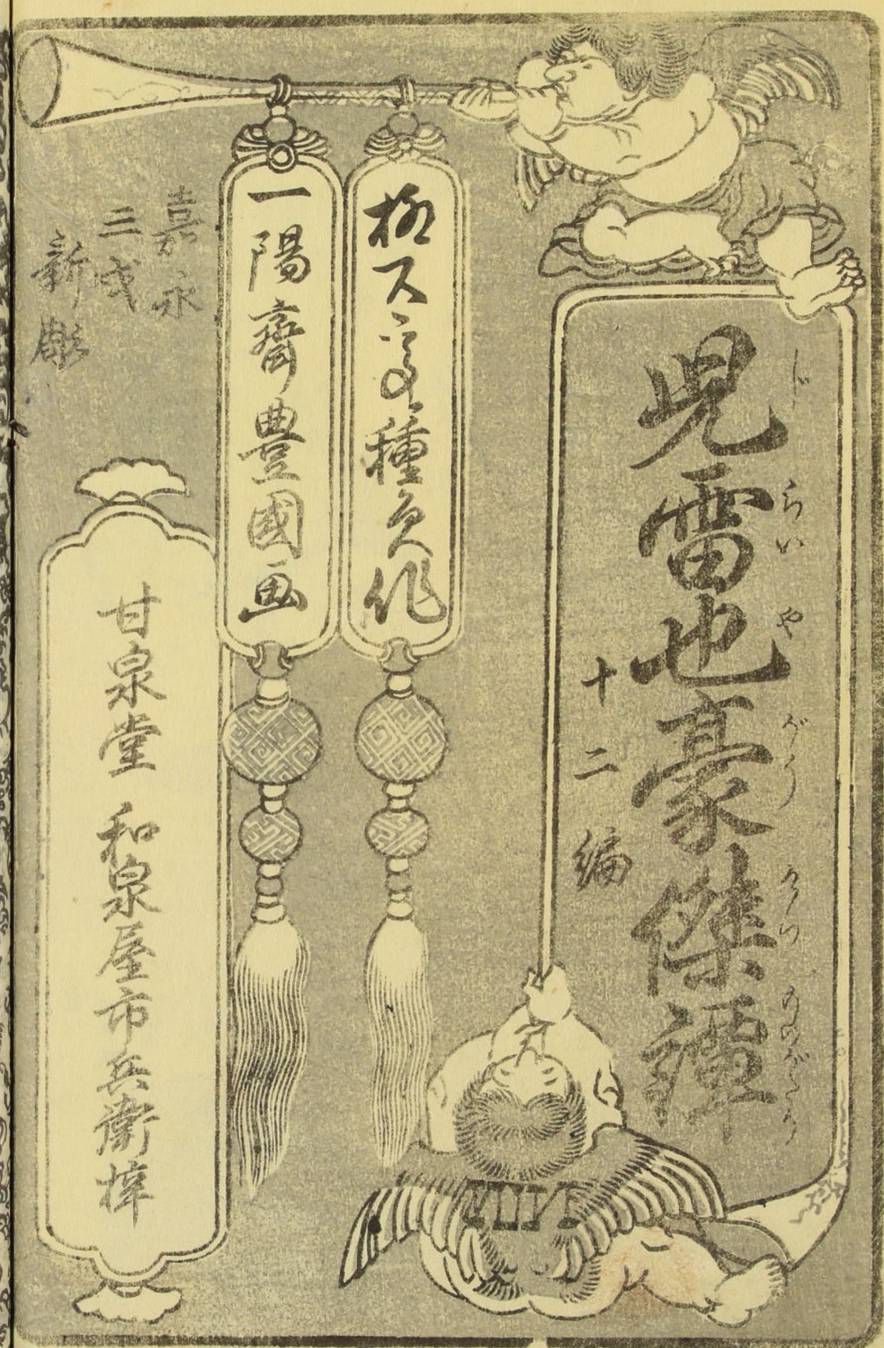
新編金瓶梅全輯 自初編至十編 曲亭馬琴翁作 大尾 一陽齋豊國画

書肆甘泉堂芝神明前 和泉屋市兵衛版

兒雷也豪傑譚

甘泉堂梓

上冊



兒雷也豪傑譚

十二編

[illegible]種[illegible]化

一陽齋豐國画

嘉永三戌新彫

甘泉堂 和泉屋市兵衛梓

過歳天保己亥の春美圖坦といふ戯作者の太夫職兒雷也の初編戯著述あるにひく手許ヨリと流行直に二編の裏約束三編四編と巻を追頗江湖に全盛なりし第六編より殊に作意も勝るゝ松の位一筆大人がこれを綴繼通路繁き十一編看官佳境に至りしが彼両個の鳳妓達づゝそ苦海の季明となり販元の御見立ゆゑ拙子に嗣編の註文がかゝりぬ嗚呼欣然たる仲の街勤の代に壁に居眠振袖雛妓其編述は拙くとも書肆ゑ年来御馴染の老舗なる甘泉堂猶不相変高評を冀ふと對妓めらして初見禮の序を斯のごとし

維時嘉永第二稔
己酉歳正月稿成
同三稔庚戌新春発兌

柳下亭種員識

勇婦細手
后兒雷也の妻となる

米山寺の兒笑若
后、佐渡國真野山の
賊首大蛇丸

兒雷也
尾形弘行

月蓮家藩中
濱秋陸三郎

○鹿野
留八

○此鶴飼と花代士へ
本名あり十三編目に
自説解

更科家の
重宝
吹雪形附
の茶入

のまゝね物の
ゆむら
そし
もゝる
筋かれ
晋其角

○蛞蝓丸の
短刀

○未塵
骨平

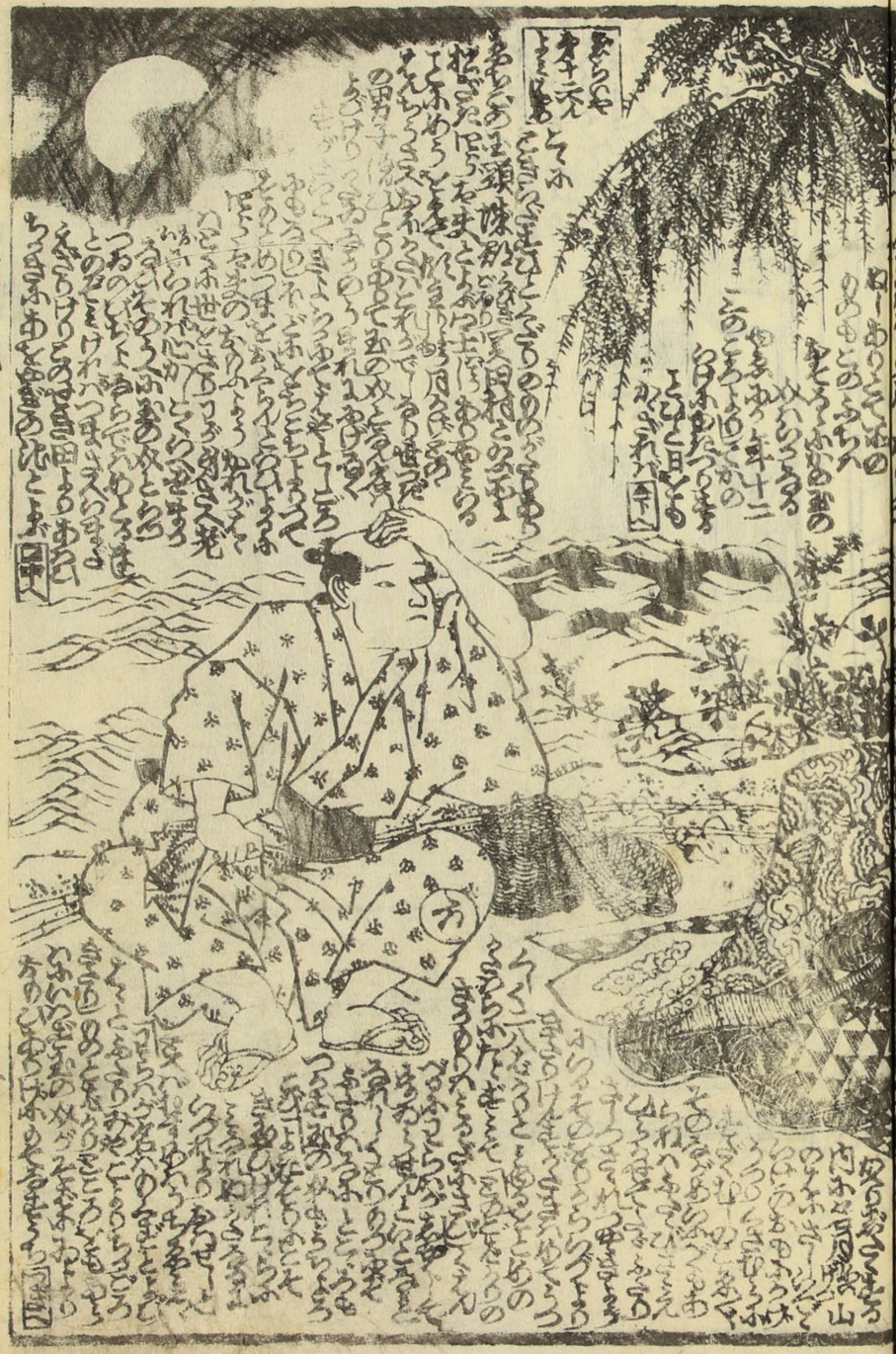
布引山のこち
玉川の宝

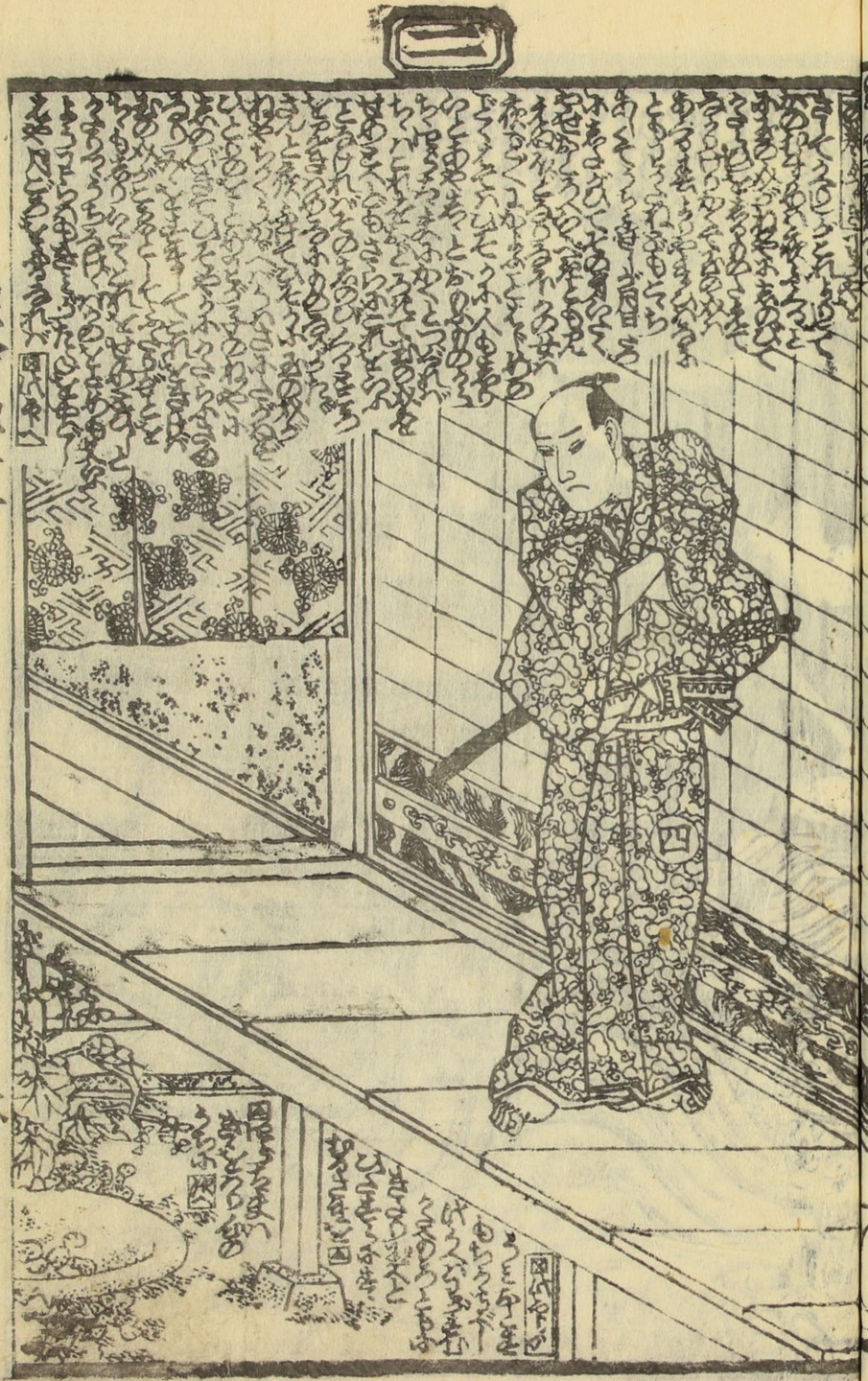
憂婆塞の修行者無雲実ハ兒雷也

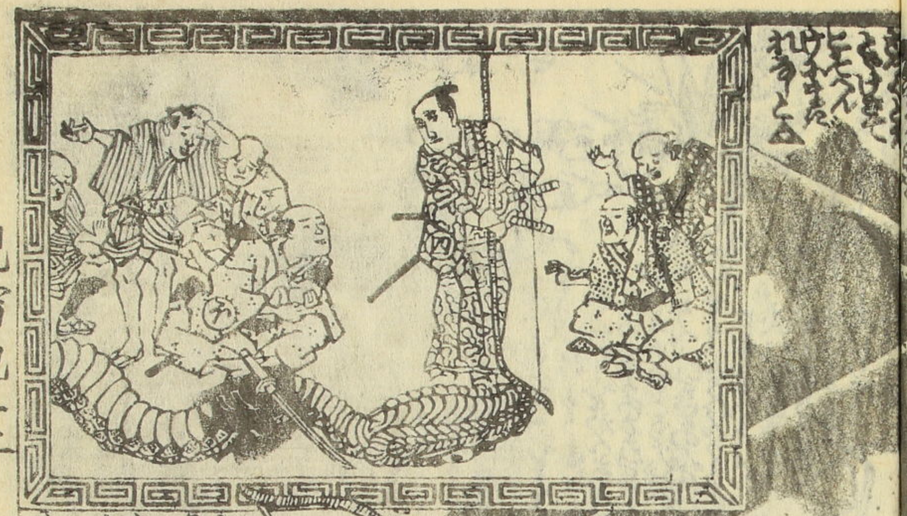
悪魔婆お強

此画様ハ第十三編目の趣向なり

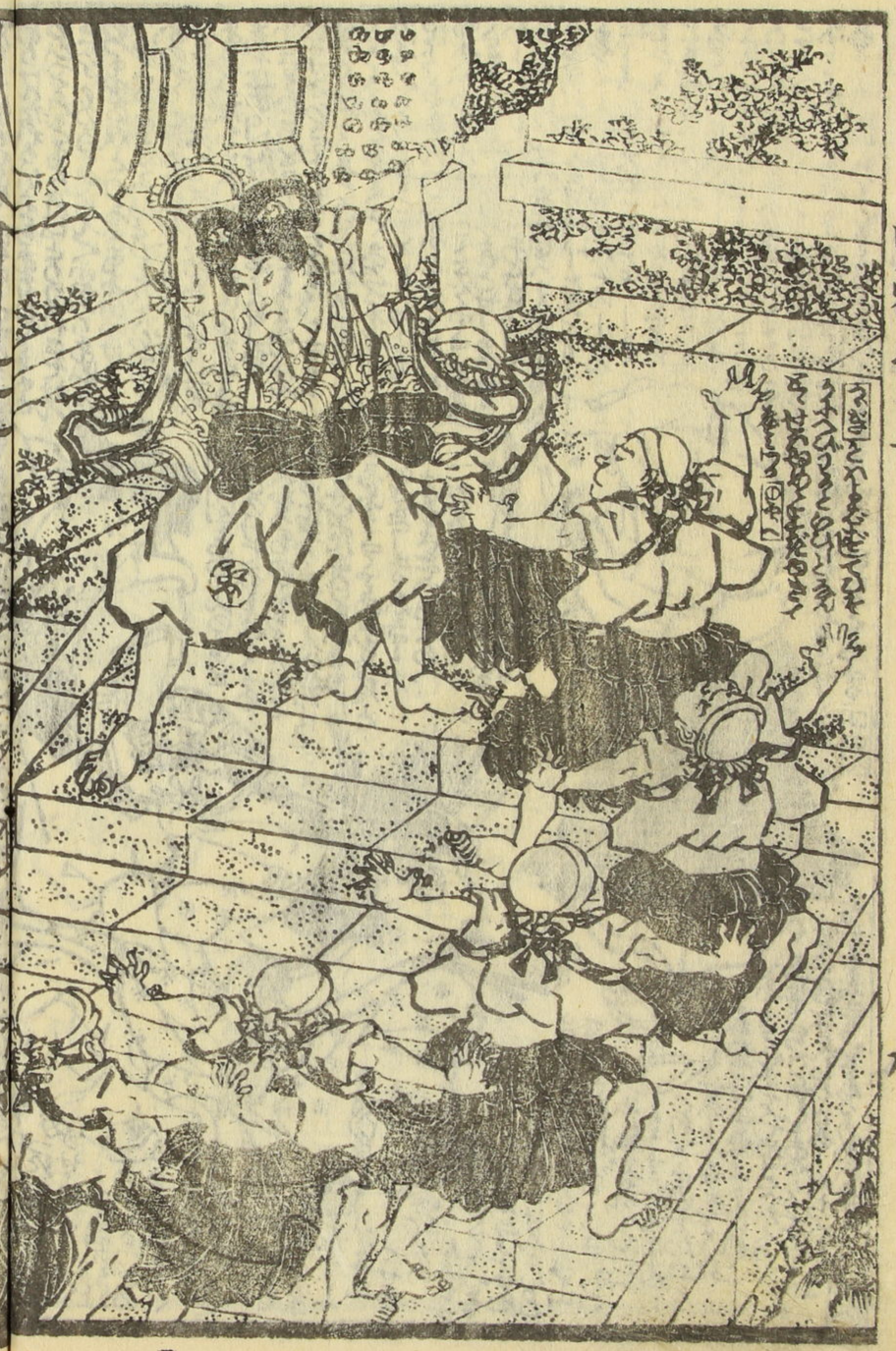
お強が妹女小園

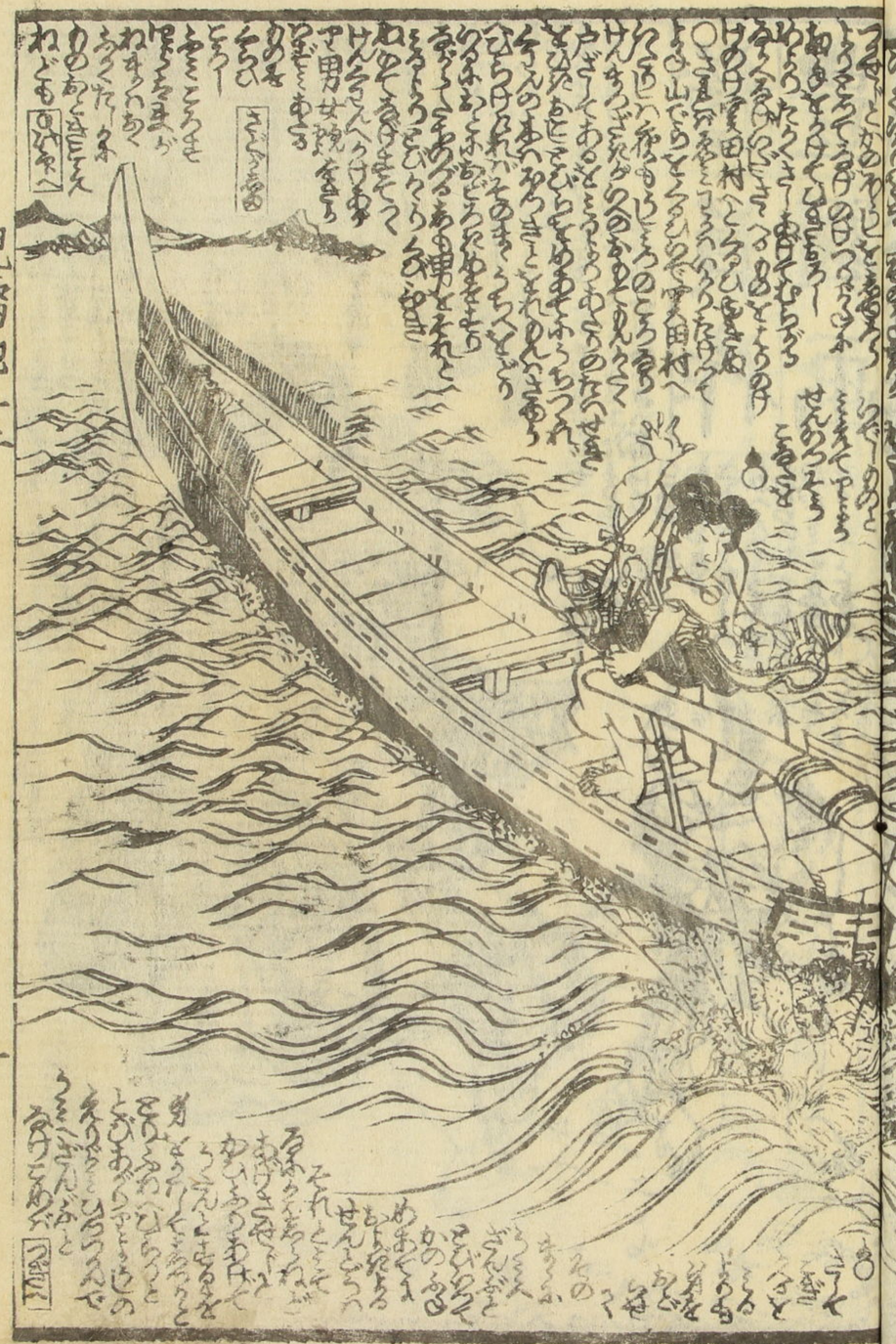






玉之助
青柳
池へ
入水
るま





種員作 豊國画

浄書 金川

嘉永六年癸丑孟春新雕

假名反古 一休草紙

柳下亭種員作
一雄齋國輝画

三編より五編を当春
無相遠出板仕り

初編ハ一休の御母公孝貞ゆゑ御所にかくなりより禅師紹内にやどりのゆゑ
ゆゑ丑和田正沈が菊帝の為に右を受ける條の事を説き余後ハ二編に
及びこゝに南一生生まし[illegible]の形容允なるゆゑ板三編に
五ヶ江州堅田に宗純義叟の流身となりの[illegible]を説四編五編をしらし
つゞ此ハ当年よりいと粗雑の[illegible]にハ[illegible]頂のうれ女北獄男達[illegible]
[illegible]助乳[illegible]の一路居士[illegible]を学世に無例一休物語[illegible]
て種々面白く耳なれざる話のことをつゞり合せりも編に続[illegible]
[illegible]一ちんの上[illegible]評事所上り

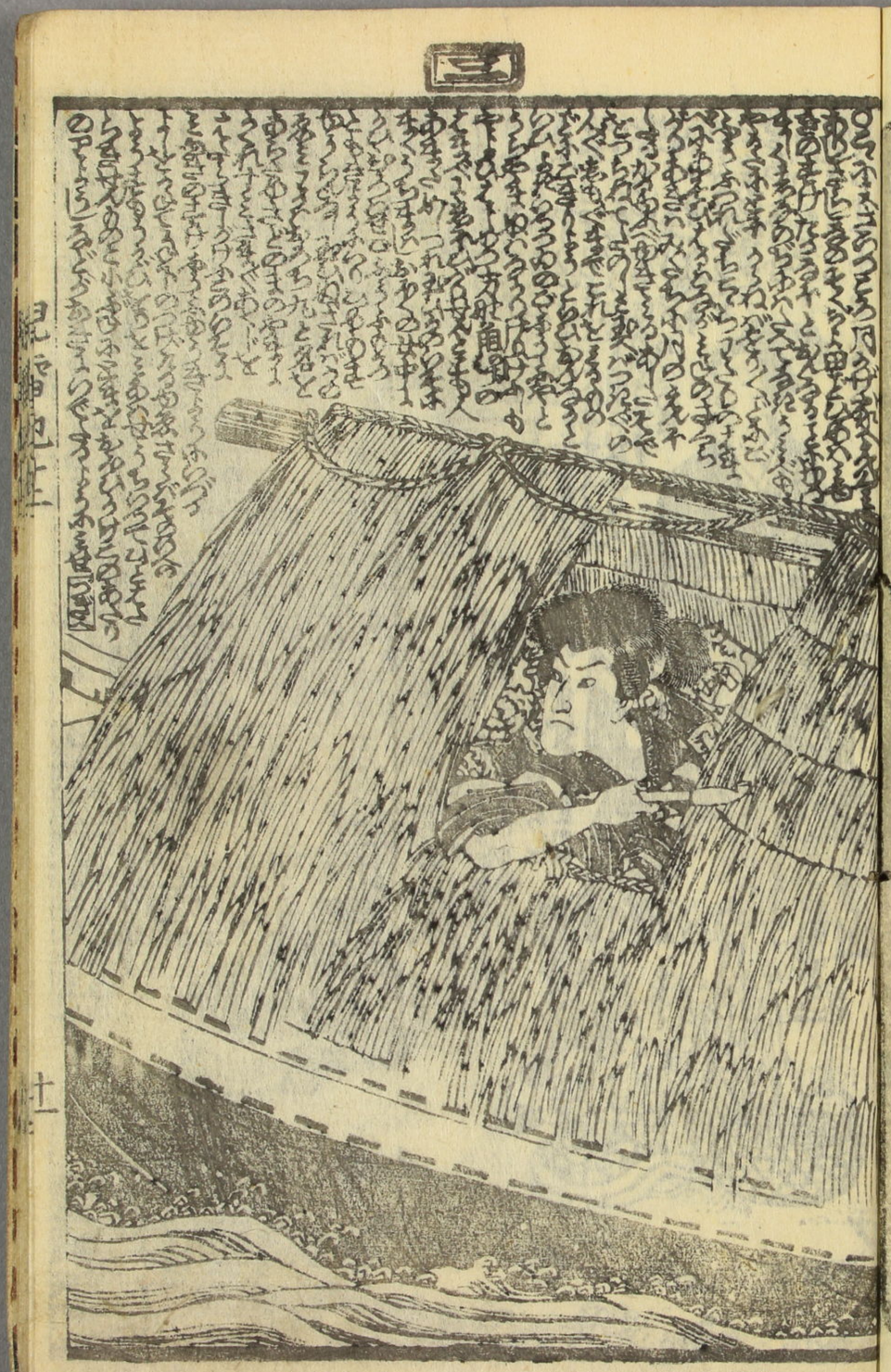
板元敬白

芝神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛板

杵下亭種員作

一陽齋豊國畫

下冊



児雷也家傑譚

柳六字作

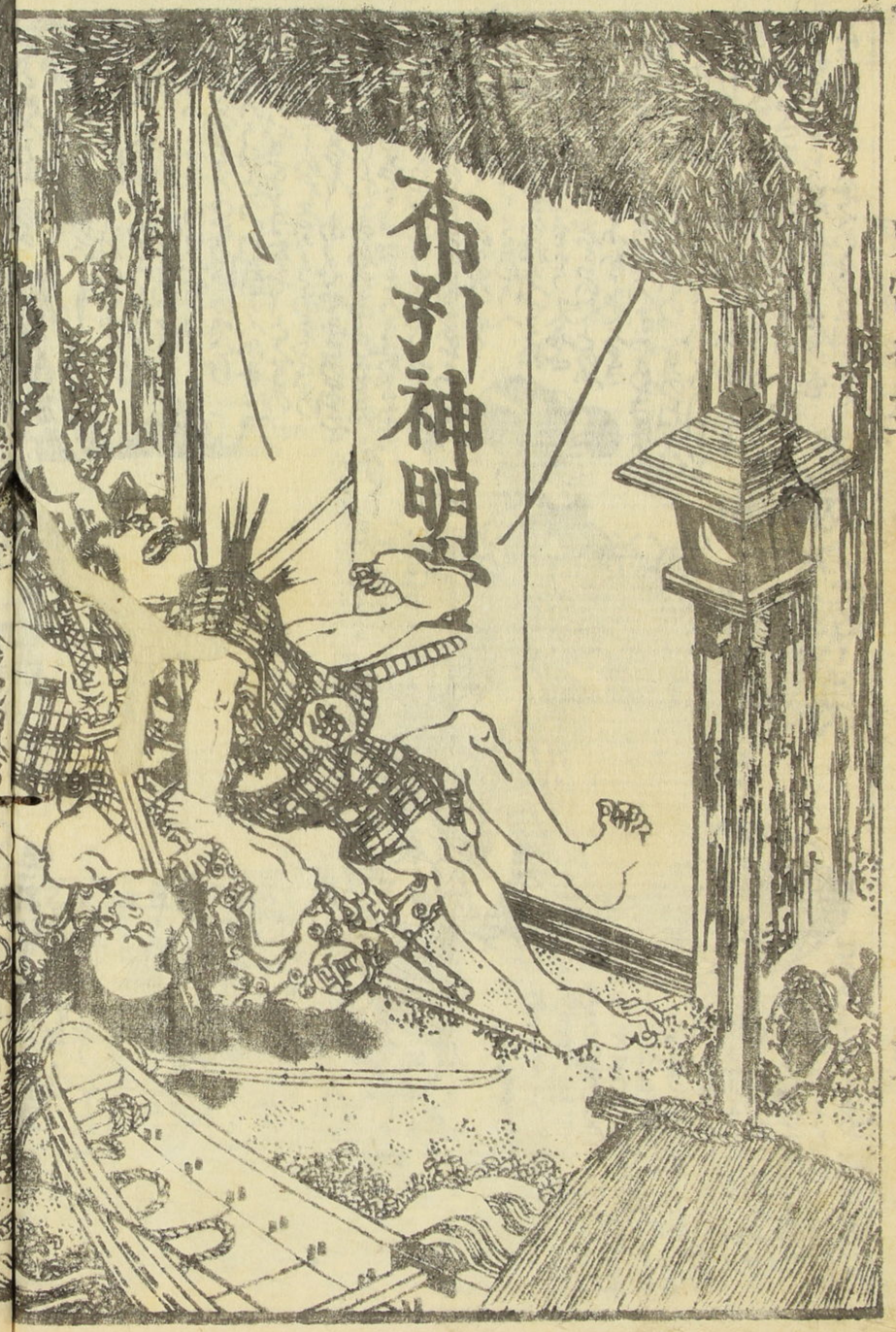
一陽楽画

十二編下

甘泉堂版

是ヨリ北武藏國

是ヨリ南相摸國


布引神明

種員作 豊國画

淨書 金川

嘉永六年癸丑孟陬發市標目

兒雷也豪傑譚 廿一篇 廿二篇 柳下亭種員作 一雄齋國輝画

笠亭仙果作 今業平昔面影 六篇 七篇 一猛齋芳虎画

緑亭川柳作 祥瑞白菊物語 五篇 六篇 錦朝樓芳虎画

新編金瓶梅全輯 自初編至十編 曲亭馬琴翁作 大尾 一陽齋豊國画

書肆 甘泉堂芝神明前 和泉屋市兵衛版

兒雷也家傑譯

十二篇

笑報紀

澧國画

茄 二成

春春新刻

村家堂梓